【資料1】

1.調 查 概 要

1 - 1 はじめに

桑名市役所の御依頼による「公民館建設用地地質調査」の結果を報告 いたします。

この調査は、公民館建設計画に伴い、予定用地の地層状況および地耐力を把握し設計・施工の基礎資料を得る目的で3ヶ所のポーリングを実施した。併せて1m毎にJISA1219の標準貫入試験を行った。

1 - 2 調査仕様

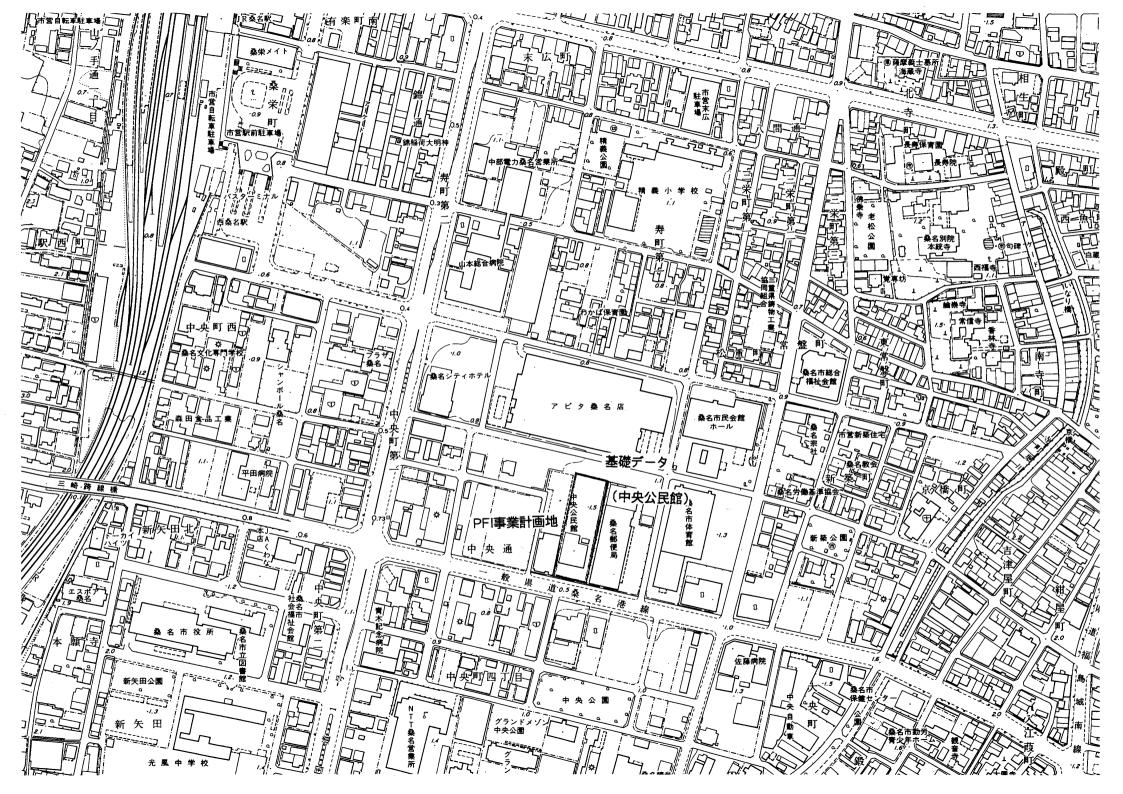
発 注 桑名市役所

調 査 名 公民館建設用地地質調査

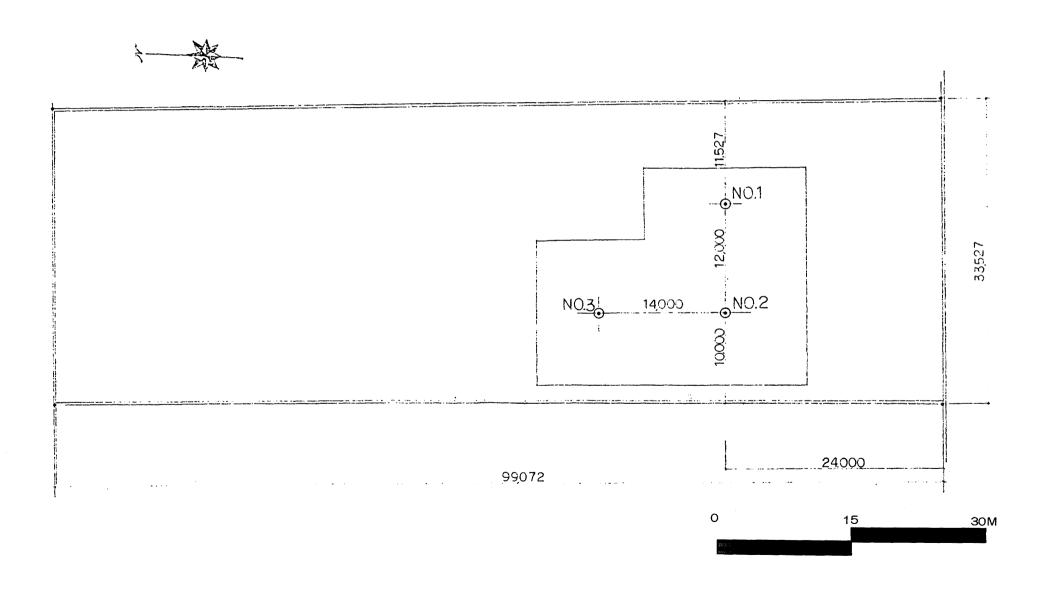
調査場所 桑名市中央町地内

調査期間 (自)昭和56年2月 5日

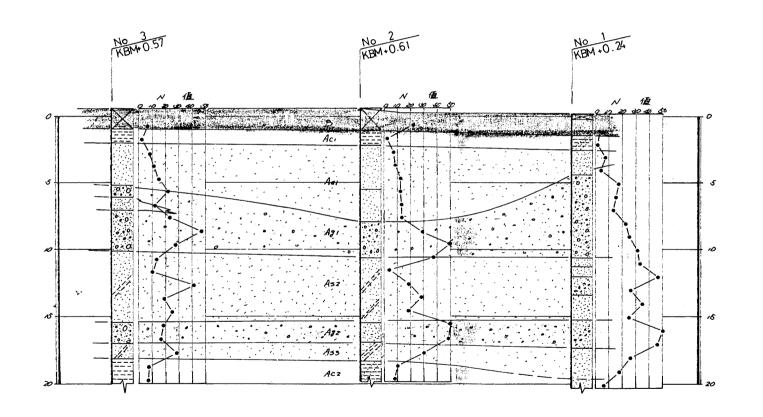
(至)昭和56年2月24日



調查位置図



土 質 断 面 図



凡例

地質 年代	土質名	記号	色別
	盛 土	В.	FEE S
冲	最上部粘土膚	Αcı	•
	上部砂層	Αsı	
積	上部砂レキ層	Agı	
	下部砂屬	As ₂	
層	下部砂レギャ	Ag ₂	
	最下部砂屬	A83	
	下部粘土層	Ac ₂	

質 柱 状 図 土 昭和 56 年 2 月 9 日 ~ 2 月 11日 公民舘建設用地地質調查 0.24 調査期間 調査名 標 高 試錐 No. 位 G L - 1.80_ <u>水</u> 相対稠度 土質試験試料 標準 貫 入試 標 滐 層 柱 土 色 10-4年の打撃回数 度 区 状 質 N値 採取 深度 m 観察事項 深度 [6] 10 20 30 cm cm cm X 名 R m - 0. 16 0.40 0.40 表 コンクリート含石~玉石φ100%大 極ゆ 鉄クス全体に関植土している埋 1. 15 1. 45 土と思われる 含水大 黒 灰 1.60 1.20 粗 砂 粘性上記り砂は主に細砂 2 -極軟 2.45 1 少量の低植物混人する 砂貫シルト 暗灰 1. 10 2.70 2.46 1部少量のシルト分を捉える ゆ 7 2 3.45 2 枡砂~小礫も混入する る 4. 15 4. 45 含水あり 中 砂暗灰 4.60 1.90 0 5.15 17 粗砂化り φ 1 0 ~ 2 0 前後) 礫 ıþ 6. 15 6. 45 . 0 15 5 0 7. 15 7. 45 ·ò 健分の少ない所, 多い折あり 7 13 3 4 ره .0 **礫**∮50%大 7 7 22 ₹ 9. 15 9. 45 含水あり 8 25 8 常 10 10. 15 10 10.45 10 8 13 0.0 砂 礫略火 10.80 6.20 11. 15 11 -丰 11 11.45 83 10 11 12 倣 11.50 0.70 細 站 灰 岩十シルト分混り -11.26 料的~細胞混入する 含水あり 12. 15 12. 45 -11.96 12. 20 0.70 12 -113 砂暗灰 46 13 19 4 部分的に繰分の少ない折あり 13 全体に小磯へ伊の川州含水あり SZ. 13 26 13 職限り砂 暗 灰 -13.86 13.60 1.40 14. 15 14. 45 14 -砂山主に和砂部が的にレンス状 常 14 35 11 12 12 ハシルト分を挟む 15. 15 少量の腐植物混入する -15.16 15.40 1.80 ンハト混り砂 曜 灰 15 15.45 25 6 11 多同に小္混人する所あり 16. 15 16-16 雀 16.41 20 20 似山地一中也 上際。610 ~30%前後 害 17 17. 45 13 15 18 蝶混り砂 断 灰 -17, 26 17, 50 2, 10 18. 15 18. 45 18 -18 少量の腐価物を混入 ιþ 26 7 9 10 うすいシルト傾を挟む 19. 15 19. 45 19 依 19 18 4 6 20.00加附近シルト分が多い 20. 15 20. 45 20 2 20. 50 3.00 2 2 細砂暗灰 20 21 -22-23-24 -25 26 ---27 --28 29 備考

土 質 状 図 柱 調査名 公民舘建設用地地質調査 調査期間 昭和 56 年 2月9日 ~ 2月10日 高 0.61 標 試錐 Na 水 位 GL 8.80 相対特別 土質試験試料 標 深 柱 標準賞入試験 ± 色 状 高 度 厚 質 10年年の打撃闘散 视察事項 N値 深度 値 10 20 30 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 R \mathbb{X} m m m コンクリート及びレンガ礫等 rþi 1 -の経土 ÚŽ. 1.45 22 7 10 1.09 1.70 1.70 磁 Ŀ 茶灰 2. 15 2. 50 2 -砂混り(細砂) 極 2 85 シ ル ト 暗 灰 小礫φ5%精度 腐植物促入 2. 80 1.10 3 -ゆるい 7 2 2 含水大 3 8 2 3 小噪φ 5 %程度混入する ? 5 — 5 5. 15 5.45 ф 12 4 6 --亿. 6. 15 6. 45 - 5.59 6.20 3.40 粗 砂峭灰 12 4 7 _ 腐植物混人 7. 15 7. 45 中 13 5 4 ンルト1~2/m帯状にはさむ 份. 8. 15 8. 45 13 - 7. 99 8. 60 2. 40 4 細妙峭灰 9. 15 密~使密~密 29 7 10 12 Ø30~50%和镀鳅 10. 15 10. 40 50 25 12 27 砂は細砂 10 -**崩壊性大** 11 _____10. 69 11. 30 2.70 礫脂灰 11 37 14 19 11.45 12-ゆるい シルト 1/m程度常状に混人 1 13. 15 13. 45 例过程的 13 -5 10 ζ 18.00 m付近属植物值人 14. 15 14. 45 14 -中 5 7 15.00 m 仗 15. 15 15. 45 15-7 腐価物及び貝カノ片混入 15 18 シルト混り 16. 15 16. 48 8/8 50 28 16—15. 59 16. 20 4. 90 暗 灰 W 17 25 16 極 Ø10%精度礫点在する 17. **1**5 17. 45 17 -17 48 15 17 16 16. 99 17. 60 1. 40 砂暗灰 密 利 18. 15 18. 45 -18.39 19.00 1.40 18 -中 18 80 7 13 10 シルト1cm程度帯状に混人 シルト混り 位. 砂 暗灰 19_ 19 10 8 8 4 19.45 シルト,しま状に混火 20. 15 20. 45 砂准り 8 3 -19.89 20.50 1.50 シルト暗灰 20 21 -22-23 -24 -25 -26 -28 -29 -30 -31 -32 備考

状 質 柱 义 土 公民舘建設用地地質調査 調査期間 昭和 56 年 2 月11日 ~ 2月12日 調査名 標 0.57 高 位 GL 2.80 試錐 No. 水 相対稠度 抖炫缭尨費土 相対密度 標 準 黄 入 試 験 標 滐 柱 **±** 色 料番号 試験 N 10cm年の打撃国象 傑 値 10 20 30 cm cm cm 状 蟴 度 採取 深度 m 観察事項 N値 X 名 尺 m m m 40 50 コンクリート及びレンガ礫等 ゆる の盛上 茶 灰 1.50 盛 :t: 1.50 6 2 2 2 - 0.98 ゆ3%相接小礫混入 極軟 2. 15 2. 55 2 -属植物混人 シルト 暗 灰 2.60 1.10 2.03 3 -3. 15 3.45 8 2 8 8 φ3∼5%程度小礫混入する る 4. 15 4. 45 11 8 ~ 中 細砂~中砂 怭. 15 7 - 5.23 5.80 3.20 砂脂灰 000 の30~50%相接機 中位 6 22 7 8 6.70 0.90 砂 礫 略灰 的过程的 6.13 中位 12 3 上部 0 1 0 % 程度 躁混人 🗐 7. 18 10 暗灰 7.70 1.00 0:0: 8. 15 8. 45 φ30~50%程度礫混人 23 8 7 中位 粗砂 崩蒙性大 9. 15 9. 45 ~密~中位 47 13 16 18 10.00m付近礫少なくなり砂 10. 15 10 -10.28 10.80 8.10 は細砂となる 27 10 10 10.45 礫 間 灰 11. 15 11. 45 13 5 4 シルト1㎝~2㎝程度帯状に 中位 12 ---12. 15 12. 45 10 2 貝ガラ片混入 7 18.15 41 12 17 12 代 $13.00m \sim 15.00m$ 13 14 -シルト帯状に混入 γ 7 14. 45 19 6 14 仲位 15. 15 15. 45 15-7 7 25 15 11 シルト混り 15.43 16.00 5.20 暗火 砂 16-16 10 16,45 18 中位 φ5~20%, 桿度礫混人 000 17 17. 15 17. 45 樂 暗 灰 砂红和砂~中砂 17. 60 1. 60 砂 17 17. 03 16 6 6 18. 15 18. 45 18 --中位 シルト准り シルト帯状に混入する 18 28 7 12 9 18.70 1.10 暗灰 刨 -18.13 19_ 19. 15 中 19 2 2 φ 2~5%/ 操混入 20 ニーシルト 暗 以 貝カラ片混入 20. 15 20. 45 ť. __{19.98} 20.50 1.80 2 20 6 2 2 21 22-24 -25 -26 27 28 -29 30 -31 -32 備考